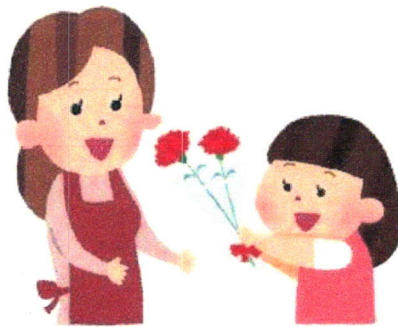
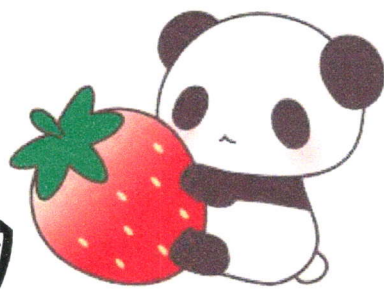




徳成寺 寺報 くら版 第197号 2023年5月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

先月は、地元・香川でも県議会議員・高松市長選・市議会議員選と三つの選挙が行われました。とっても賑やかでしたね。

総務省が全国各市議会議員選挙の結果を取りまとめたところ、当選者に占める女性の割合は、22%となり過去最高を記録したそうです。つまり5人議員さんいれば1人以上が女性です。単に女性が多くなればよいとは思いませんが、これまで世の中を実質的に動かして来たのは圧倒的に男性です。

ただその男性が築いてきた世の中が行き詰まり、最後は武力と武力のぶつかり合い

でしか物事を進められないのを見るにつけ、こうした男性的な思考を超えたあらゆる意味で優しい思考がないと、未来が開けてこない気がします。仏教が伝統して来た

観世音菩薩（観音菩薩）が体現する優しさ（慈悲）に包まれた世になりますように。

-発行責任者-
住職
大山健児
土守
大山ひめ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっております、副住職です。去る4/3 親鸞聖人御誕生850年の団体参拝の引率の為、本山に行きました。専用のジャンパーを着て香川県から集まってきた門徒の皆様を出迎えました。しかし、ジャンパーのお陰で本山のスタッフだと勘違いをした別の団体さんから次々と写真係をお願いされました。無下に断るわけにもいかずしばらく対応した後、自分が受け持つ団体と合流。普段よく会う門徒さんがいらっしまったので声をかけました。すると、「お兄さんみたいな若い人も本山にはいるんだねえ。ご出身はどこなの？」と尋ねられました。「高松です。大山ですよ」と名乗ると「全然気が付かんかったわ!」と申し訳なさそうな様子でした。法衣でない事に加え、マスクなので分からなくても仕方のない事です。この記事が出る5/8にはコロナが5類に引き下げられるので、マスクを外して人と接する機会が増えてくると思います。状況によって再びマスクが義務付けられても、顔を思い出してもらえようような深い人間関係を築きたいと感じました。写真は2年ぶりの東本願寺大門です。

